

No.157
2025/06/01

MITAKE GIKAI

御嵩町議会報：みたけ議会のたより

Newsletter

第1回定例会
令和7年3月

令和7年度
当初予算を審議

Contents

- P. 2 第1回定例会の概要
- P. 6 議員の注目はこちら !!
- P. 8 一般質問等
- P.14 中間報告
- P.15 お知らせ

御嵩町議会公式サイト



第1回 定例会 2月26日～3月19日

- 令和7年度当初予算などの議案31件を審議・採決
- 8議員が町政一般及び施政方針について質問

第1日目（2月26日）

- 町長の施政方針の発表 ○議長報告（4件） ○議案の上程、提案理由の説明（27件）
- 審議・採決（6件） ○請願（1件）を総務建設産業常任委員会に付託

第2日目（3月5日）

- 一般質問（5議員） ○町長の施政方針に関する質問（2議員）

第3日目（3月6日）

- 一般質問（2議員） ○町長の施政方針に関する質問（1議員）
- 議案（令和7年度各会計当初予算6件、条例1件）を民生文教常任委員会、総務建設産業常任委員会に付託

民生文教常任委員会（3月12日）

- 令和7年度一般会計予算の民生文教常任委員会所管部分、令和7年度国民健康保険特別会計予算、令和7年度後期高齢者医療特別会計予算、令和7年度介護保険特別会計予算を審査・採決

総務建設産業常任委員会（3月14日）

- 令和7年度一般会計当初予算、令和7年度水道事業会計予算、令和7年度下水道事業会計予算、条例、請願を審査・採決

第4日目（3月19日）

- 追加議案の上程、提案理由の説明（3件）
- 各常任委員会に付託された議案の審査結果報告・審議・採決（8件）
- その他議案の審査・採決（17件）

報 告

議長報告

- 例月現金出納検査の結果について（報告）（令和6年11月分から令和7年1月分まで）
- 再審規定の改正を求める意見書の発出について（お願い）
- 人権保障を担う保育・障害・介護現場で働く職員自身の人権が守られ、働き続けられる福祉職場にするために、国に対して賃金の引き上げと職員増員のための財政措置の意見書提出を求める陳情
- 議員派遣報告書

人 事

●固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員に塩澤隆良しおざわたかよしさんが選任同意されました（再任5期目）。任期は令和7年4月1日から3年間です。

条例の制定・改正

●御嵩町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

書面だけでおこなっていた手続きをオンライン手続等も可能にするために制定するものです。

●御嵩町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び御嵩町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

民間労働法制の施行にあわせ超過勤務の免除の対象となる子の範囲の拡大など、職員がより一層働きやすい環境となることを目的として関係条例を改正するものです。

●御嵩町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正

消防団員退職報償金の勤務年数区分に、新たに「31年」「32年」「33年」「34年」「35年以上」区分を追加

補正予算

決算見込みを踏まえた歳入、歳出の増減などの補正をおこないました。

会 計	補正額	補正後の総額
一般会計補正予算（第10号）	△1億5,448万2千円	113億1,628万4千円
一般会計補正予算（第11号）	△9,727万9千円	112億1,900万5千円
国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	△2,168万6千円	22億5,330万9千円
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	260万4千円	3億3,159万9千円
介護保険特別会計補正予算（第3号） （保険事業勘定）	50万5千円	20億4,351万7千円

各常任委員会の審議を経て可決されました

令和7年度当初予算 149億6,390万円

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	85億500万円	△11.0%
特別会計	45億9,200万円	3.4%
国民健康保険特別会計	22億6,400万円	
後期高齢者医療特別会計	3億3,800万円	
介護保険特別会計	19億9,000万円	
水道事業会計	8億1,830万円	3.0%
下水道事業会計	10億4,860万円	△1.8%



当初予算の詳細は町ホームページをご覧ください

主な重点政策予算

子育て世代への支援・少子化対策

2億2,934万円 第2期 GIGA スクール端末更新・活用支援事業、保育園・小中学校の環境改善等

安全・安心な暮らしづくり

9億4,974万円 南海トラフ巨大地震旧鉱物採掘区域防災対策事業、地域防災緊急整備事業等

環境保全・脱炭素社会の実現

836万円 再生可能エネルギー活用推進補助金、みたけ木育アプローチ等

地域コミュニティ・経済の活性化

1,496万円 ビジネスパワーアップサポート事業、キャリア教育事業、まちづくり活動応援補助等

関係人口の創出・地域の魅力向上

7,422万円 御嵩城址公園展望台ライトアップ、鬼岩公園環境改善事業、町制施行70周年記念事業等

議決結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 -…議長のため採決に加わらない	議 員 名											
	大沢 まり子	鈴木 篤志	広川 大介	山田 徹	可児 さとみ	鈴木 秀和	清水 亮太	奥村 悟	伏屋 光幸	高山 由行	岡本 隆子	谷口 鈴男
議案第3号～第31号	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
議案第3号	御嵩町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議案第4号	令和7年度御嵩町一般会計予算について	可決
議案第5号	令和7年度御嵩町国民健康保険特別会計予算について	可決
議案第6号	令和7年度御嵩町後期高齢者医療特別会計予算について	可決
議案第7号	令和7年度御嵩町介護保険特別会計予算について	可決
議案第8号	令和7年度御嵩町水道事業会計予算について	可決
議案第9号	令和7年度御嵩町下水道事業会計予算について	可決
議案第10号	令和6年度御嵩町一般会計補正予算（第10号）について	可決
議案第11号	令和6年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	可決
議案第12号	令和6年度御嵩町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第13号	令和6年度御嵩町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	可決
議案第14号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
議案第15号	御嵩町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	可決
議案第16号	御嵩町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第17号	御嵩町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び御嵩町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第18号	御嵩町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第19号	御嵩町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例及び御嵩町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第20号	御嵩町上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第21号	御嵩町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第22号	御嵩町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第23号	財産の取得について（小中学校タブレット端末）	可決
議案第24号	債権の放棄について（行政財産の目的外使用料）	可決
議案第25号	指定管理者の指定について（あゆみ館）	可決
議案第26号	御嵩町上之郷辺地総合整備計画を定めることについて	可決
議案第27号	御嵩町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び御嵩町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第28号	工事請負契約の変更について（令和4年度南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業第3期防災工事）	可決
議案第29号	令和6年度御嵩町一般会計補正予算（第11号）について	可決
議案第30号	御嵩町内部組織設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第31号	工事請負契約の締結について（可茂消防事務組合御嵩分署 亜炭鉱廃坑防災工事）	可決
発議第2号	御嵩町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
請願第1号	名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の存続を求める請願書	採択



委員(議員)の注目はここ!!

常任委員会

総務建設産業 常任委員会



委員長 奥村 悟
副委員長 鈴木 秀和
委員 岡本 隆子
大沢まり子
高山 由行
広川 大介

問 町制70周年記念事業での町民活動への補助について、既存の補助事業とのすみ分け、期待する事業効果は。

答 まちづくり活動等応援補助金など既存補助事業の補助金を使っても、対象経費が70周年記念事業に関連するものとして重複していなければ受け付ける。地域文化の発信やにぎわいの創出に重点を置いており地域の魅力の再発見や地域の誇りを深めることに期待する。(総務課)

問 町広報紙「ほっとみたけ」の予算が昨年度より増加しているのはなぜか。

答 物価高騰の影響で1冊あたりの発行単価が増加したことによるものであり、毎月6,100部を12か月分発行するので予算額は大幅に増加する。(総務課)

問 メルカリを利用した不用備品の売却について、手数料削減のため、町民への直接売却は検討したのか。

答 今後、調査研究していく。(企画課)

問 ふるさと納税自動販売機の活用状況は。

答 自動販売機での寄附額は令和6年度は2月までに184万8千円であった。今後の予定としては自動販売機の設置場所を変更することとなり寄附額の増加に期待している。(まちづくり課)

問 関係人口創出事業について、対象とする大都市圏とは。ネット広告に係る経費はあるのか。

答 対象圏は具体的に決めていないので今後の事業の進め方によって最適な場所でプロモーションをしていく。ネット広告に係る経費はネット情報発信メディア戦略経費にて計上している。(まちづくり課)

問 鬼岩公園の整備に関して、雑木除去など公園管理のあり方の検討状況は。

答 以前遊歩道の一部が崩落した際には雑木処理も含めて環境改善をおこなった。国定公園なので制限はあるが、折を見て不要な雑木は撤去するなど必要に応じて管理を進めていきたい。(まちづくり課)

問 今後のわいわい館の活用方法は。

答 願興寺本堂完成を見据えて一体的な管理運営をしていく拠点にしていきたいと考えている。(まちづくり課)

問 南山公園トイレの改修内容は。

答 和式トイレ4つ(女性3、男性1)をすべて洋式化する。また、窓にひびが入っているので修繕する。(建設課)

問 鳥獣被害防止対策事業について、狩猟免許取得者に対する補助の実績、補助制度の周知状況は。

答 令和6年度は1件の補助実績があった。周知については町ホームページ上に早急に掲載したい。(農林課)

問 名鉄広見線(新可児駅~御高駅間)の存続を求める請願の願意は。

答 請願事項は2点。存続を求めること、関係機関(名鉄、国、県、可児市及び八百津町)への伝達となっている。(紹介議員)

総務建設産業常任委員会、民生文教常任委員会において、令和7年度当初予算を慎重に審議しました。委員会での質疑から、各委員が注目した内容を紹介します。

民生文教 常任委員会



委員長 谷口 鈴男
副委員長 伏屋 光幸
委員 清水 亮太
可児さとみ
山田 徹
鈴木 篤志

問 認知症検診事業補助金の補助件数の見込みは。

答 介護認定を受けていない高齢者の検診費用の自己負担額を補助するものであり、1か月あたり5件、12か月分で60件を見込んでいる。
(保険長寿課)

問 フレイルリスク分析の詳細と対象者への周知は。

答 電力スマートメーターの電気の使用状況からAIが分析することでフレイルリスクの高い人を把握するものであり、介護認定を受けていない在宅のひとり暮らし高齢者を対象に申し込みを受け付ける。包括支援センター職員がフレイルリスクの高い人を訪問し必要なサービスにつなげる。
(保険長寿課)

問 高齢者带状疱疹予防接種の対象者は。

答 対象者は当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の人。令和7年度に限り100歳以上の人全員である。
(福祉子ども課)

問 産後ケア事業において宿泊型を新設した理由と個人負担額は。

答 近隣自治体の状況に合わせて今後の必要性をかんがみて新設するものである。個人負担額は委託額の3割程度を見込んでいる。
(福祉子ども課)

問 障害者自立支援給付の今後の見込みは。

答 障がい者3,422件、障がい児776件を見込んで計上している。給付件数は増加傾向であり特に障がい児の利用増が顕著である。
(福祉子ども課)

問 保育園環境改善事業等における防犯カメラ設置の詳細は。

答 園児や職員の安全確保、不適切保育等予防の観点から、上之郷、中、伏見保育園の3か所に設置し、御高保育園には防犯カメラの設置費用に対し補助金を交付する。
(福祉子ども課)

問 GIGAスクール端末の更新による旧端末の処分方法は。

答 新しい端末導入後に業者が回収予定である。再利用する端末も多少あるが端末が古いため授業での使用は難しく、教育委員会の会議等で使用する想定である。
(学校教育課)

問 放課後児童クラブ運営における環境整備と委託の効果は。

答 御高小放課後児童クラブのエアコン2部屋分を更新する。民間委託により支援員のシフト体制の幅が広がること、シフト作成を業者がおこなうため支援員の負担軽減が期待できる。
(学校教育課)

問 山羊さん除草隊活動事業の実施方法と期待する効果は。

答 上之郷小校舎北側斜面を中心に防護柵を設置し2、3週間程度柵の中に山羊を放ち草を食べてもらう。学校からの要望もあり、児童たちには山羊に水を与えるなどふれあってもらいたい。
(学校教育課)

問 地域クラブ支援事業について指導者の確保状況は。

答 スポーツについて11クラブの登録があり、1クラブ2人ずつで22人の想定である。令和7年度から文化系のクラブが4つほどできる予定である。
(学校教育課)

一般質問及び 施政方針に対する質問

一般質問とは？ 皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が町に対して質問をおこないます。
施政方針とは？ 町長が主要施策や予算などについて、自らの考えや信念、方針などを表明するものです。

鈴木 秀和 議員 …………… 9ページ

- 一般質問 リニア工事の残土置き場問題の件
- 施政方針質問 名鉄広見線に対する町長の思い

岡本 隆子 議員 …………… 10ページ

- 一般質問 人材バンクのさらなる活用を

山田 徹 議員 …………… 10ページ

- 一般質問 災害備蓄への対応について

奥村 悟 議員 …………… 11ページ

- 一般質問 小規模特認校について

清水 亮太 議員 …………… 11ページ

- 一般質問 学校運営協議会について

広川 大介 議員 …………… 12ページ

- 一般質問 有害鳥獣捕獲隊の活動促進について
- 施政方針質問 関係人口創出のための施策について

鈴木 篤志 議員 …………… 13ページ

- 一般質問 眠育について

可児 さとみ 議員 …………… 13ページ

- 施政方針質問 願興寺の周知について

文責、掲載内容について

一般質問および町長の施政方針に対する質問は、質問議員本人の文責です。一般質問等のページに掲載した内容について、議員に直接連絡がつかない場合は、氏名、連絡先、問い合わせの内容を添えて、議会事務局へ書面にてお届けください。

また、掲載してある質問、答弁は要約となっています。会議録は町ホームページや議会事務局で閲覧できます。

※会議録の公開は「みたけ議会のたより」発行後になる場合があります。

P9～P13に掲載している一般質問等の内容は一部となります。YouTube「御嵩町議会公式チャンネル」では、すべての内容をご覧いただけます。

各議員の質問はP9～P13に掲載してありますQRコードからご覧ください。

<https://www.youtube.com/@mitake-gikai/videos>



御嵩町議会
公式チャンネル



鈴木 秀和 議員

一 般 質 問



リニア工事の残土置き場問題の件

- 問**
- ①候補地 A,B は共に、フォーラムおよび J R 東海の事後調査報告書で重要湿地に含まれると確認されているが、町長の見解を問う。
 - ②町長の言う、湿地環境保護保全のための改変エリアの最大限縮小と健全土の受け入れ、この 2 つを成立させる具体案について問う。

- 答** (町長)
- ①平成28年に環境省が重要湿地の一つに指定した「東濃・中濃地域湧水湿地群」の中に「美佐野ハナノキ湿地群」が含まれているというのが、環境省から説明のあった重要湿地の範囲についての見解である。美佐野地内の置き場計画地とその周辺には、谷沢を中心にハナノキなどが集中的に分布している場所があることを確認していることから、候補地 A、B がともに重要湿地に含まれる可能性があるとは考えられるが、指定者である環境省による正式な範囲の線引きがない以上いずれにしても確認はできないとお答えするほかない。
 - ②改変エリアの縮小にともなう置き場計画以外での実現性は J R 東海と町だけでなく、利害関係者や区域を超える場合にはその自治体との協議・合意一致により決定するものである。J R 東海に湿地環境への影響低減として、最大限の改変エリアの縮小検討を求めたことに対する回答などを含め、J R 東海との協議は今後これからになるので、現時点で安易に言及することは難しい。

町長の施政方針に対する質問

名鉄広見線に対する町長の思い

- 問**
- 施政方針の『町の未来、町民の暮らしにとって大きな判断になると認識した』にもかかわらず、新聞記事は『町がこうしますと言っても結局協議事項になる』、町としての方針決定に否定的とあったが、この問題を御嵩町長が言わずして誰が言うのか。町長の思いを問う。

- 答** (町長)
- 記事の経緯は、記者から名鉄広見線の存廃決定の方向性を問われたため、存廃については町単独の問題ではないことから、町独自で決定するものではなく、沿線市町などと協議、合意を経て方向性が決まっていくプロセスを辿ることを説明したものである。協議にあたっては、各市町や関係する国、県および名鉄に考えをしっかりと伝え、合意に至ることを目指して進めていく。説明会の場や関係者等からお聞きした意見、これから本格的に議論されるであろう議会特別委員会の結果や今後の署名の動きなども踏まえ、財政的な視点はもとより、今後の町の活性化や持続可能性を高めるために求める公共交通のあり方として、本町の方針を責任をもって決定し、かつ、実現できるよう協議では強く伝えていきたいと考えている。



岡本 隆子 議員

一般質問

人材バンクのさらなる活用を！



問

現在、教育委員会には人材バンク登録制度がある。様々な分野で特技・知識等をお持ちの方に登録をお願いし、学校教育や公民館活動等で活躍いただいている。

- ①どのように登録者を再募集し、また新たに開拓しているか。
- ②広く町民から自薦・他薦で募集したらどうか。
- ③他の分野でも活躍できるよう活動の場を広げられないか。

答

(教育参事)

- ①人材バンクは、特技や知識を有する地域の人材を登録し、子どもの教育や地域活動を支援する制度であり、令和3年の改定では、公民館や学校と連携し、講師や指導者、同好会メンバーなどに再登録・新規登録を呼びかけ、人材の掘り起こしをおこなった。
- ②人材バンクは小中学校や公民館での利用を目的に作成されたもので、教育委員会内でのみ共有されている。従来の生涯学習課を窓口としたマッチングの利用は減少しており、関係者間の直接的な連絡が増えてきている。今後は、自薦・他薦による募集や登録・手続きの見直しおよび制度の周知方法や運用方法について検討していきたい。

(副町長)

- ③町内外を問わず、町民にとって有益な知識や技能を持った方は、まだまだおられると思う。これらの方々に、さまざまな分野で協力いただけるのであれば大変ありがたい。ほっとみたく、ホームページ、ファンクラブサイトなどで広く募集して、各分野、担当課ごとに整理し、問い合わせに活用させていただく。募集の方法や詳細を整えたいうえで対応していきたい。



山田 徹 議員

一般質問

災害備蓄への対応について



問

- ①備蓄物資の種類や数量の判断取り決めは。被害想定や避難所運営に対応できるものか。
- ②物資の保管確認やローリングストックは適正か。今後の物資追加や倉庫の増設計画は。
- ③遠隔地自治体との災害時相互応援協定など連携体制を図る積極的な思いはないか。

答

(総務部長)

- ①国は、国民に最低3日間、推奨1週間の備蓄を呼び掛けている。町では、国や県の防災計画などを参考に最大避難者数の3日分を備蓄することを定めており、129品目を分散備蓄して被害想定に備えている。
- ②備蓄物資は使用期限、交換時期を管理して更新をおこなっているが、能登半島地震の教訓を踏まえ、避難所の生活環境に配慮した新たな資機材の導入を進めている。物資は主要避難所である公民館に分散備蓄しているほか、長岡防災倉庫で集中ストックの運用をおこなっている。また、新庁舎整備事業で予定している防災広場内に防災倉庫を新設する予定がある。

(町長)

- ③今後起こり得る緊急事態を想定すると、自治体間の相互応援協定は有力な災害支援につながり極めて重要だと認識している。防災力を強固なものにして効果的に対処していく上において、広域や遠方の自治体と相互応援協定を締結し連携することは、災害対応の体制強化にもつながることから、機会を捉えながら可能性を探っていく。



奥村 悟 議員

一般質問

小規模特認校について



問

- ①小規模特認校が始まって8年経つが、取り組みの成果はどのようなか。検証はなされているか。
- ②小規模特認校について他の保育園や小学校へのPRや周知をどのようにしているか。
- ③小規模特認校をより充実していくための教育委員会の今後の支援は。

答

(教育長)

小規模特認校制度とは小規模校の特色を活かした教育を行う学校に町内全域から通学できる制度であり、学校規模の安定化を図ることを目指している。

- ①過去5年間の状況で不登校による欠席者は0人または1人、暴力行為の発生件数も増加の傾向はない。不適応を起こすことなく落ち着いた学習環境が維持されている。学校規模は、特認校制度を利用する児童の割合が高まっており、本年度は全児童数に対し約23%がこの制度を利用している。全児童数は、おおむね70人から80人で推移し、特認校制度が学校規模の安定化につながっている。
- ②本町や上之郷小学校のホームページ、広報紙などを活用した周知と小学校入学予定の保護者や児童を対象とした説明を各小学校の就学時健診にあわせておこなっている。
- ③上之郷小学校の教育活動の推進と発展を支援するための環境整備に努めている。特認校制度の利点をさらに生かし、より個に寄り添った指導がおこなえるよう、本年度から学習支援員を一人増員している。今後も、上之郷小学校に児童の笑顔が広がるよう、小規模の良さを活かした教育活動の充実に向けて取り組んでいく。



清水 亮太 議員

一般質問

学校運営協議会について



問

- ①住民は主体的に学校運営協議会に参画できているか。
- ②教育委員会は協議会の運営状況をどの程度把握できているか。
- ③協議会への指導、助言、取り組みの実例は。

答

(教育参事)

- ①各学校の協議会は、教職員の採用について話し合う機会は不足している一方、年間計画に基づき定期的開催されている。委員は広報活動を通じて情報発信をしており、学校行事への参加や研修会の実施を通じて子どもたちとの交流もおこなっている。また、協議会では学校の課題について熟議議論し、地域住民や関係者が主体的に意見交換をおこなっている。
- ②教育委員会では、年2回「学校運営協議会 学校間交流会」を開催し、各校の協議会メンバーが情報交換をおこなっている。7月の交流会では、前期の活動内容や課題について話し合い、実施計画を確認した。また、学校だよりやホームページでも活動状況が公開されており、そこから運営状況を把握している。
- ③教育委員会は、研修会やフォーラムの情報を学校を通じて提供し、参加を促進している。また、「学校間交流会」を開催し、他校の事例を参照して課題解決を図っている。一方、協議会は議事録を作成し、活動状況を年度末までに教育委員会へ報告する必要があるが、全ての学校でおこなわれているわけではないため、各学校へ指導した。



広川 大介 議員

一 般 質 問



有害鳥獣捕獲隊の活動促進について

問 捕獲活動のPR、捕獲隊員を増やすためのPRの実績・予定は。

答 (建設部長)

広川議員からは、令和5年第3回定例会でも「鳥獣被害対策について」と題された一般質問を受け、答弁させていただいた。その中で「有害鳥獣捕獲隊員の募集は、できる限りPRしていく」との答弁が、実現していないことについては大変申し訳ない。

近年における周知としては、町広報紙（6月号）に「有害鳥獣対策の紹介」の中に『有害鳥獣捕獲隊による捕獲活動が始まる』との内容を掲載したことのみであった。

前回と同じ答弁になり真に恐縮だが、周知については出来る限り早期に、町の情報発信媒体を使って周知を図っていきたいと考えている。

町長の施政方針に対する質問

関係人口創出のための施策について

- 問**
- ① SNS等の広告を活用してリーチするターゲット層の想定は。
 - ② ショート動画の制作・発信で求める成果は。

答 (町長)

- ① 御嵩町の全国的な知名度が低い現状を踏まえると、具体的なターゲットとして人の属性を捉えるというよりは、例えばハッシュタグ「中山道（歴史観光）」「優良企業（就職雇用）」「みたけの森（自然環境）」など、ユーザーそれぞれが持つ価値観や目的、興味関心から御嵩町を知っていただくことを考えている。集まるコミュニティや内容に応じてターゲット層を変えながら広告を活用していきたい。
- ② 今後活用するショート動画の制作・発信では、再生数のみといった成果を求めるコンサルやクリエイターに依頼していく考えはない。各動画のユーチューブ公開を通じて、興味関心を持って訪れていただける方が増えることや、この動画を見ながら魅力スポットを散策し、立ち寄る光景が多く見られるようになることがショート動画の成果と考えている。今後はショート動画を含むデジタルメディアの活用に向けて職員の人材育成にも力を入れていくとともに、成果を検証しながら進めていきたい。



鈴木 篤志 議員

一般質問

眠育について



問 県内の他自治体では、子育ての現場や教育現場で「眠育」を取り入れているが、御嵩町内の幼児教育や学校教育の現場で導入する予定はあるか。

答 (民生部長)

一般的に十分な睡眠を取ることは、幼少期、保育期の子どもたちの健康な成長と発達にとって重要であり、集中力を高め、健康な身体が維持される。保育現場では午睡（いわゆるお昼寝）は、園児の成長と発達に重要な役割を果たしている。園児に十分な午睡の時間を設け、リフレッシュできる環境を整え、心身ともに健康な成長に最善を尽くすことが、保育所の役割の一つである。睡眠を含む規則正しい生活リズムの形成が、幼少期の「眠育」に通じていると言える。

(教育参事)

「眠育」の重要性は教育現場で間接的に扱われており、健康な生活には「食」「運動」「休養（睡眠）」が不可欠であるとされている。小学校ではこれらの要素の相互の重要性を学び、中学校では生活習慣の乱れが健康に与える影響について理解を深めている。本町では「早寝早起き朝ごはん」運動に沿った啓発がされるとともに、学校、家庭、地域が協力して子どもたちの生活習慣の改善を支援している。これらの活動を継続することが、「眠育」につながると考えている。



可児 さとみ 議員

町長の
施政方針に対する質問

願興寺の周知について



問 願興寺の価値がまだまだ町内外に広く認識されていない今、周知していくためには修理工事完成までにどのように発信をしていく考えか。

答 (町長)

今後取り組むべき発信については大きく2点あると考えている。1点目は、願興寺が持つ「価値そのものの発信」である。改修中の姿を含め、完成までの今しか見られない願興寺を見学できる貴重な時期と捉え、より一層、改修中の現場を見る機会などを企画し、貴重な仏像群と合わせ、多くの方々に知っていただく機会を提供していきたいと考えている。また、町が保管する修理過程の映像・写真等を整理し、中山道みたけ館あるいは御嶽宿わいわい館にてご覧いただけるよう取り組んでいくとともに、小中学生のふるさと学習での活用や見学機会の提供、あるいはイベント学習会の開催などを通じて、その魅力の発信に努めていく。2点目は、願興寺の「観光・まちづくり資源としての発信」である。2年間という願興寺完成までの時間を有意義に使えるよう、大都市圏など、特に名古屋都市圏への誘客発信プロモーションにあたっていきたいと考えている。また、寺院や歴史の好きな方、仏像や建築に関心のある方、あるいは中山道を歩く方などへのPRも検討していきたい。

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間) 問題対策特別委員会 中間報告書

名鉄広見線問題対策特別委員会は、令和7年3月19日、御嵩町議会議長に対し、これまで行ってきた調査・研究をふまえ、以下の6項目について中間報告を行いました。

- 1) 御嵩町の目指すべきまちづくりのための公共交通のあり方を考え、路線維持に限らず持続可能な移動手段のサービス運営を主体的に図る
- 2) 単なる路線維持でなく、将来の地域づくりに多様な付加価値を生む可能性を含めた投資的な事業を展開する
- 3) 路線存続に関しては、現時点で考えられる方式のほかにも将来につながる運営方式を探る
- 4) 路線存続を進めるにあたり、関係する自治体や機関、事業者との負担金および補助金等の応分負担について継続的に協議交渉する
- 5) 町の財政運営について、路線維持にかかる将来支出の影響を検証するとともに歳入増加を図るための多様なプロジェクトを長期的に試みる
- 6) 名鉄広見線問題は単に当該区域（新可児～御嵩駅間）だけでなく、地方広域的交通網への課題と捉えて対処する

委員会・協議会 の開催経緯

1月24日	第1回特別委員会	委員長・副委員長選出
2月10日	勉強会	講師：国立大学法人富山大学特別研究教授 中川大先生
	第2回特別委員会	町民説明会・勉強会を受けての意見等について協議
3月12日	第1回特別委員会協議会	執行部への説明要請及び資料請求にかかる回答等について協議
3月 7日	第3回特別委員会	委員長中間報告について協議
3月14日	第2回特別委員会協議会	執行部への質疑について及び中間報告について協議
	第4回特別委員会	委員長中間報告について協議
3月19日	中間報告	

議会を傍聴しませんか

次回 令和7年 **第2回 定例会(予定)** 6月4日(水)から6月13日(金)

月 日	曜 日	会 議	内 容
6月 4日	水	本会議	会期の決定、 諸般の報告、 議案の上程及び提案理由の説明
10日	火	本会議	一般質問
11日	水	本会議	一般質問
13日	金	本会議	議案の審議及び採決

本会議

議案などを審議し、議会の最終的な意思を決定する、全議員で構成する会議です。議長が議事を進行します。

一般質問

議員が、定例会本会議において、議案に関係なく広く行政全般にわたって、執行部の報告、説明、所信の表明を求め、疑問点をたずねることです。

審議

議案などについて説明を聞き、質疑し、討論をし、表決をする一連の流れのことです。

※日程は都合により変更となる場合があります。
※審議内容などは町ホームページに掲載します。

議会を傍聴するには

議会当日、議会事務局受付（役場 2階）で住所、氏名などを所定の用紙に記入後、傍聴券をお受け取りください。

お願い 発熱などの症状がある場合は、傍聴をご遠慮ください。

一般質問はケーブルテレビ可児、YouTube「御嵩町議会公式チャンネル」で、ご覧いただけます。
ケーブルテレビ可児では、一般質問の様子が生中継（場合によっては録画放送）されます。

チャンネル登録よろしくお祈いします！

御嵩町議会公式チャンネル

<https://www.youtube.com/@mitake-gikai/videos>

御嵩町議会

公式チャンネル▶



議会日誌（2月～4月）

2月

- 1日 議会住民懇談会
- 4日 県知事訪問
- 10日 全員協議会／議会運営委員会
第2回臨時会／議会報編集委員会
名鉄広見線問題対策特別委員会
みたけ産業交流会
- 12日 議会運営委員会
総務建設産業常任委員会協議会
- 13日 民生文教常任委員会協議会
- 14日 地方財政対策等説明会
- 19日 新丸山ダム周辺二市二町議会
議員情報交換会
- 20日 国会議員訪問(東京、議員会館)
- 21日 全員協議会／議会運営委員会
- 26日 議会運営委員会／定例会(初日)

3月

- 5日 定例会（一般質問等）
- 6日 定例会（一般質問等）
- 7日 町立中学校卒業式
名鉄広見線問題対策特別委員会
- 10日 可児川防災等ため池組合議会
可茂地域一部事務組合議会
- 12日 名鉄広見線の存続を求める署名受領
民生文教常任委員会
- 14日 総務建設産業常任委員会
名鉄広見線問題対策特別委員会
- 16日 可児ロータリークラブ創立50周年記念式典
- 19日 全員協議会／議会運営委員会
定例会(最終日)／議会報編集委員会
- 24日 名鉄広見線活性化協議会
- 25日 町立小学校卒業式
共和中学校組合議会

- 26日 岐阜県議長会評議員会(臨時会)
- 27日 可茂地域懇談会
- 30日 御嵩薬師祭礼「当家入り」

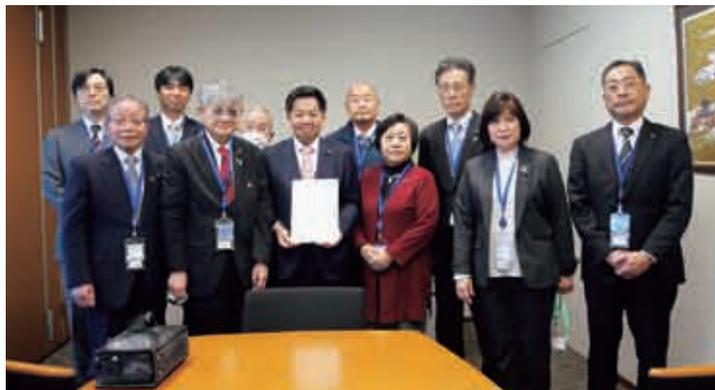
4月

- 1日 議会活性化研究会
- 4日 可児市・八百津町訪問
- 6日 消防団入退団式
御嵩薬師祭礼
- 7日 町立小・中学校入学式
- 9日 可児地区交通安全大会
- 11日 議会報編集委員会
- 21日 第1回市町村長等・議会議員
特別セミナー（～22日）
- 24日 議会報編集委員会
- 27日 郡体育大会開会式

TOPIX (議会活動)

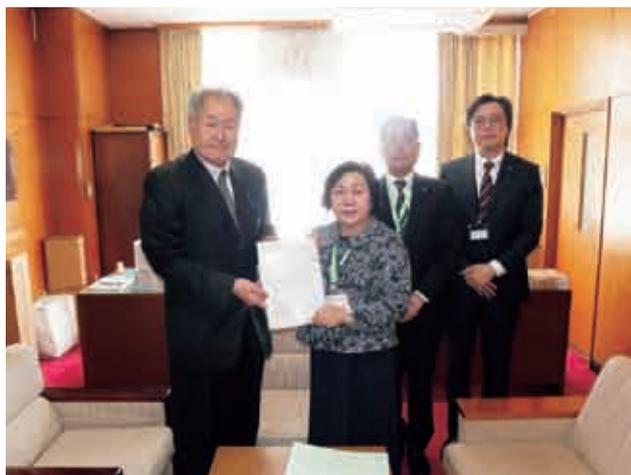
国会議員を訪問

2月20日(木)に地元選出国會議員などを訪問し、町の重要施策である亜炭鉱廃坑防災対策事業について要望活動をおこないました。



可児市・八百津町を訪問

4月4日(金)第1回定例会において採択された「名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)の存続を求める請願」について、請願事項に基づき、可児市および八百津町へ伝達しました。



◀八百津町議会



▲可児市議会

編集委員のつづやき

- 時代の移り変わりや進化を先導する立場であるならば、地方議員にとって最も重要で、かつ困難な仕事は、現状維持バイアス、恒常性バイアス、確証バイアスと闘うことだろう。(広川)
- 何かを始める一歩には、続ける以上のエネルギーが必要。動いてこそ見えるものがある。そう信じて、今できることから少しずつ。(鈴木篤)
- 思いや考えは、声に出して話すことで初めて相手に伝わります。同時に自分の曖昧な考えがだんだん明確になってきます。最初から正解はなくても、声に出してたくさん話す事、新しい動きは良いコミュニケーションから生まれます。(可児)

次号は令和7年9月1日発行(第2回定例会)の予定です。